



# 令和4年度 活動内容について

2022年6月14日

農林水産知的財産保護コンソーシアム事務局  
株式会社マークアイ

**Mark-i**

1. 地理的表示等の第三者による海外商標出願及び不正使用に関する調査
  - ①GIマーク/JASマークの不正使用調査
  - ②地理的表示に関する商標ウォッチング調査
  - ③地理的表示に関する商標スクリーニング調査
  - ④地理的表示に関するネット不正使用調査
  - ⑤相互保護対象の海外地理的表示に関するネット不正使用調査
2. 海外現地における模倣品市場調査
3. 地名等商標監視トライアル
4. 知的財産セミナー・相談会の開催
5. 侵害対応等の相談対応
6. 会員向け啓発活動
7. コンソーシアム会員向け情報発信

# 1. 地理的表示等の第三者による海外商標出願及び不正使用に関する調査

GI登録名称を中心に、調査時におけるGI申請公示名称まで対象を広げた上で、県名や自治体名といった周知性の高さなどを勘案して、下記②～③の調査を組み合わせて実施します。必要に応じて、対応を検討いたします。

## ① GI/JASマークの不正使用調査：4回程度

- GI/JASマークについて不正使用の有無を確認する調査を実施。
- 世界約180か国を対象にGI/JASマーク画像をインターネット上で検索(イメージスクリーニング)し、確認を行う。

## ② 地理的表示に関する商標ウォッチング調査：50名称程度

海外約190か国を対象に、GI登録・公示名称に係る地名(ローマ字、ピンイン(漢字の中国語発音))が商標登録出願されていないかウォッチング(監視)調査を実施。※商標等監視トライアル調査も含めた調査件数

## ③ 地理的表示に関する商標スクリーニング調査：25名称程度

農林水産物主要輸出先の20の国・地域を対象に、既に出願・登録・失効した商標も含めた状況把握のため、GI登録・公示名称に係る地名(漢字(ひらがな)、ローマ字、ピンイン(漢字の中国語発音))を調査文字列としたスクリーニング調査を実施。

## ④ 地理的表示に関するネット不正使用調査：20名称程度

- GI登録又は公示されたうち主な製品の地名について、世界の主要な約170のネットショッピングサイトを検索し、不正使用された商品を確認する調査を実施。
- 調査結果のうち、問題となる可能性があるものについては、関係自治体へ情報提供を行う。

## ⑤ 相互保護対象の海外地理的表示に関するネット不正使用調査: 43名称程度

- 相互保護対象として指定されている海外地理的表示の名称等について、日本国内のネットショッピングサイトを検索し、不正使用された商品を確認する調査を実施。

## 2. 海外現地における模倣品市場調査

海外における我が国の農林水産物・食品の模倣品・産地偽装品の発生状況を調査し、会員へ情報共有します。

### ■ 調査方法

- スーパーマーケット、専門店、卸売市場、レストラン等
- 現地の知財専門スタッフによるチームが現地のスーパーや卸売市場へ赴き、日本産品、日本産と表示されているものや侵害の疑いがある商品を調査。
- 侵害が悪質な場合はテスト購入を実施。

### ■ 対象国(予定※)

- アジア 3ヶ国 (中国、台湾、タイ): 各国30店舗程度(ウェブ含む)
- ヨーロッパ 4ヶ国 (スペイン、フランス、イタリア、イギリス): 各国10店舗以上

### ■ 実施期間(予定※):2022年7月～10月

※各国の状況により、実施時期及び調査内容が変更になる可能性があります。

### 3. 商標等監視トライアル

商標監視の有益性や重要性をご理解いただくため、トライアル調査を実施いたします。調査方法はウォッチングとスクリーニングの2種類からお選びいただけます。

(添付資料5.商標監視トライアルパンフレット 参照)

	商標ウォッチング調査	商標スクリーニング調査
対象国	全世界(日本除く) ※1	主要な国1ヶ国 ※2
対象商標	①文字 ②図形 (うち1商標)	漢字又はアルファベット
対象区分	29, 30, 31, 32, 33のうち、希望する区分	29, 30, 31, 32, 33のうち、希望する区分
調査期間	2022年10月～2月(最大5ヶ月)	依頼後8営業日

※1 希望する国・地域をお選びいただくことも可能です。

※2 スクリーニング調査は、国によってお受けできない場合がございます。ご利用時にご相談ください。

※3 監視対象の商標は「県名、地名のみ」となりますので、お申込みの対象は会員のうち、地方自治体のみとさせていただきます。

- 募集件数: 10件(各自治体1商標・1調査)
- 申込受付期間(案): 2022年7月中旬～8月中旬

※調査結果は会員に共有させていただきます。

※発見された調査結果に対する対応結果についても、最終的に取りまとめをし、会員に共有をいたします。

## 4. セミナー・相談会の開催

会員の皆様に知的財産権の保護・活用法や侵害対策などについての理解を深めていただくため、有識者を招へいし、セミナー・相談会を開催いたします。オンラインセミナー形式を継続し、セミナーテーマについて会員より希望を募ります。

セミナー実施概要	
セミナー内容	会員から希望のテーマを募集し決定(農林水産物・食品分野の知的財産権に関する内容)
講演者	国内弁理士又は有識者
募集開始時期	2022年7月頃
開催時期	2022年9月～11月頃
開催回数	3回
個別相談会	事前予約制で実施 (相談対応者:セミナー講師)
開催方法	【セミナー】オンラインセミナー 【相談会】オンライン会議

## 5. 侵害対応等の相談対応

「海外現地における模倣品市場調査」及び「商標等監視調査」において、発見された事案の対応方法について、法的対応を検討するための見解を国内外の弁理士・弁護士より入手いたします。

### ■ 海外現地における市場調査

- － ウォッチングやスクリーニング調査で発見された類似商標に対し、どのような対応ができるのか検討できるよう、取りうる対応策を分かりやすくまとめる。発見された模倣品に対する対応策
- － 対応する前に実施すべき事前調査等の有無 等

### ■ 商標監視等調査

- － 異議申立等を実施した際の勝算見込み
- － 発見された先行商標に対する対応策 等

※ 見解を入手する上で必要となる会社調査・スクリーニング調査等の事前調査や、見解入手後の対応に係る具体的な法定手続については会員の費用負担となります。

■ 対象国 : 全世界

■ お問い合わせ方法 : 電話、メール、FAX等

商標監視や不正使用調査で発見された不正出品や類似商標に対する対応方法について、会員の理解を深めるため、当社スタッフによるセミナーを2回程度実施する。なお、開催時間は会員が参加しやすいよう1時間程度とし、セミナー内容はアンケート等の内容から会員の要望に沿ったものを設定する。

## ■ セミナー内容案

- 内外のGI登録者の海外商標保護事例等について等

## ■ 令和3年度実施実績

### ▶ インターネット上の侵害と取りうる対応策

登録生産者団体での対応事例

#### ■ 発見されたリンク

ショッピングサイト 1688.com (中国)

出品内容 市田柿として販売されているが、原産国が日本ではない。

【山梨】市田特産特選出口級削1.362KG装1家直銷山東青州特産

原産地 山東  
原産地 山東省 (中国)

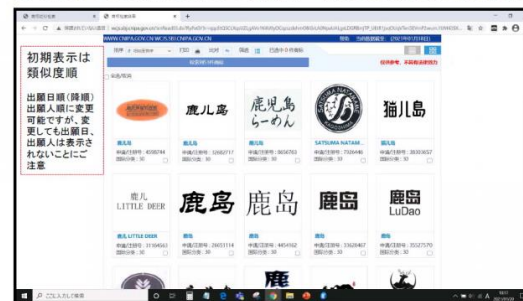
出品タイトルに「市田柿」とあるが、原産地が「山東省 (中国)」となっている。



### ▶ 中国商標データベース検索

1-3.漢字/アルファベット商標の検索2 (類似検索・文字) ④

・商標イメージ付きの一覧が類似度順で表示されます。  
・青字で表示されている「商標名称」をクリックすると詳細情報 (1-1出願番号での検索④参照) が表示されます。





## ホームページ設置 【<https://mark-i.info>】

- コンソーシアム関連情報の提供
- 新規入会、各種サービスの申込
- セミナー情報、実績報告

## メールマガジン発信 【[maff@mark-ijp](mailto:maff@mark-ijp)】

- 海外農林水産物に関する知的財産情報
- マークアイ発行の知的財産関連情報

## アンケート調査・要望受付

- 会員へ向けたコンソーシアム、セミナーに関するご意見募集
- 知的財産制度や侵害事案に関する問い合わせ受付
- 知的財産やGI保護に関する問題点、要望

商号	株式会社マークアイ
所在地	東京都港区赤坂2-17-7 赤坂溜池タワー8F
事業内容	知的財産権に関する総合コンサルティング事業
URL	<a href="https://trademark.jp">https://trademark.jp</a>
創業	1990年10月
設立	1994年8月
資本金	1億円
代表取締役社長	川合 義彰
従業員数	76名
取引先企業	約1800社 (2021年3月時点)